

1. 件名：特定兼用キャスクの設計の型式証明等に係る審査会合への対応について

2. 日時：令和3年8月31日 16:10～16:30

3. 場所：原子力規制庁 9階C会議室（TV会議システムを利用）

4. 出席者（※・・・TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

（新基準適合性審査チーム）

止野企画調査官、高橋管理官補佐※、立元管理官補佐※、中野上席安全審査官、松野上席安全審査官、石井主任安全審査官、田澤審査チーム員

GNS Gesellschaft für Nuklear-Service mbH：

ライセンス・マネージャー 他1名及び通訳者1名並びに通訳補助者4名※

5. 要旨

（1）GNS Gesellschaft für Nuklear-Service mbH（以下「GNS社」という。）から、本日の審査会合（第12回特定兼用キャスクの設計の型式証明等に係る審査会合議題2）において、以下のとおり、議論された事項の確認があった。

○審査は日本語の資料のみを用いて行うことから、書面による審査会合及び書面による事務局ヒアリングの両者に対して、GNS社は、自らの意図が正確に伝わるように日本語の資料を作成すること。

（2）原子力規制庁は、上記の確認事項を踏まえた初回の書面による審査会合用資料の作成を依頼するとともに、引き続き申請内容の確認を行うこととした。

（3）GNS社より、了解した旨、回答があった。

6. その他

提出資料なし

以上